

Tajima

タジマレーザー 専用受光器

マルチレーザー レシーバー2

品番：ML-RCV2

取扱説明書

- 本製品は、マルチレーザーレシーバー対応墨出し器にのみご使用いただけます。



お使いになる前に、
この取扱説明書を必ずお読みください。
本製品の性能をご理解の上で、
適切な取扱いと保守をしていただくよう
お願いいたします。
取扱い方法などのお問い合わせは、
レーザー相談デスク〈0120-933297〉。
お読みになった後は、
後日必要になることがありますので、
必ず保管してください。

保証

■当製品は精密電子部品を使用しています。

外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。お取扱いおよび保管には十分に注意してください。尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3 **0120-933297**

ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	確認項目
受光の反応をしない	乾電池は消耗していないか、乾電池の入れ方は正しいか、レーザー墨出し器本体の電源が入っているか、モードが適切かを確認してください。
レーザーラインのないと ころで反応する	レーザー墨出し器本体のカバーガラスの汚れを確認してください。 カバーガラスの汚れにより、拡散した光に受光器が反応している可能性があります。 (テラ・ゼロレーザーは光が強いので拡散光に受光器が反応しやすい)
	周囲に窓ガラスや金属などの反射しやすいものがないか確認してください。
	本体から1m以下の距離で使用していませんか、 1m以上離してご使用ください。
全てのLEDの点滅+ ブザー音	新しい電池に入れ替えてください。

上記の方法で、解決できない場合は故障です。「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は

修理をご依頼される前に、前述の「故障かなと思ったら」を見て故障かどうかを確認してください。

- 1) 購入時にご記入、保管いただきました「保証書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 2) 本機と「保証書」を運送用外箱に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービスをご利用ください。

■修理についてのお問い合わせは・・・

タジマメンテナンスセンター

0120-470282

フリーFAX.0120-243324



〈受付時間〉 月曜日～金曜日(祝日・当社指定休日を除く) 8:40～18:00

■製品についてのお問い合わせは・・・

レーザー相談デスク

0120-933297



〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～17:30

(平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く)

本機を正しく使うためのご注意

安全にお使いいただくための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

表示の説明

 **警告** 誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。

 **注意** 誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について

 してはいけないことを示す「禁止」表示です。

 必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

安全上のご注意

以下に記載する内容に十分に注意してご使用ください。

警告



禁止

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください
望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
- レーザー光を直接のぞかないでください
- レーザー光路は眼の高さを避けてください
- レーザー光路に立ち入らないようにしてください
- レーザー光路に反射物を置かないでください
- レーザー光を他の人に向けしないでください
- 幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。
障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

注意



禁止



強制

- 絶対に分解や改造をしないでください
本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。
- 乾電池を火の中に入れたり、充電をして使用しないでください
乾電池の液漏れ、発熱、破壊の原因となります。
- 使用しない場合は乾電池を取り出してください
乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となります。
- 使用者への安全教育について
レーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解の上ご使用ください。
- 墨出し器のガラスが汚れていないか確認してください
墨出し器のガラスが汚れていると、レーザー光が拡散し、拡散光によって受光器が誤反応する可能性があります。

使用上のご注意

- 使用前使用後には、必ずレーザー墨出し器本体の精度確認をしてください
レーザー墨出し器に付属の「使用上のご注意」をよくお読みください。
- 強いショックを与えないでください
本機を倒したり、落としたりしないでください。衝撃や振動が加わった場合、精度不良や故障の原因となります。
- 本製品は、タジマレーザー墨出し器専用です
弊社製品の対応機種以外にはご使用できません。
- 故障したまま、本機をお使いにならないでください
すぐに使用を中止して、お求めの販売店または、タジマメンテナンスセンターに修理をご依頼ください。
詳しくは「故障した時は」をご覧ください。
- 濡れたままお使いにならないでください
本機は防塵・防水設計となっています。ただし、雨中での使用や、受光窓の水滴・汚れなどが精度不良の原因となります。必ず、水滴・汚れを拭き取ってからご使用ください。
- 本機は-5℃～40℃の範囲でご使用ください
指定範囲外の温度で使用すると故障および精度不良の原因となる場合があります。
- 結露したままお使いにならないでください
結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してください。
その後電源を入れれば正常に作動します。
何時間たっても作動しない場合は、タジマメンテナンスセンターにご相談ください。
- 次の場合、レーザー光の基準位置を正しく検知できない場合があります
 - 直射日光や強い照明下
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器のそば
 - 窓ガラスや金属・鏡などの高反射面のそば
 - 縦ライン・水平ラインのレーザー光の交差部分
 - 受光器本体がレーザー墨出し器にまっすぐ向いていない
 - 受光器本体が固定されていない
 - テラ・ゼロレーザーとの組合せで使用する場合、レーザー光が強いので拡散光や乱反射などで受光器が誤反応することがあります。

■保管について

必ずケースに入れて保管してください。

■保管場所として、次のような場所には置かないでください

- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
- 冬場の屋外などの低温になるところ
- ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- 急激な温度変化のあるところ
- 湿度の高いところ
- 磁気を帯びたところ
- 振動の多いところ

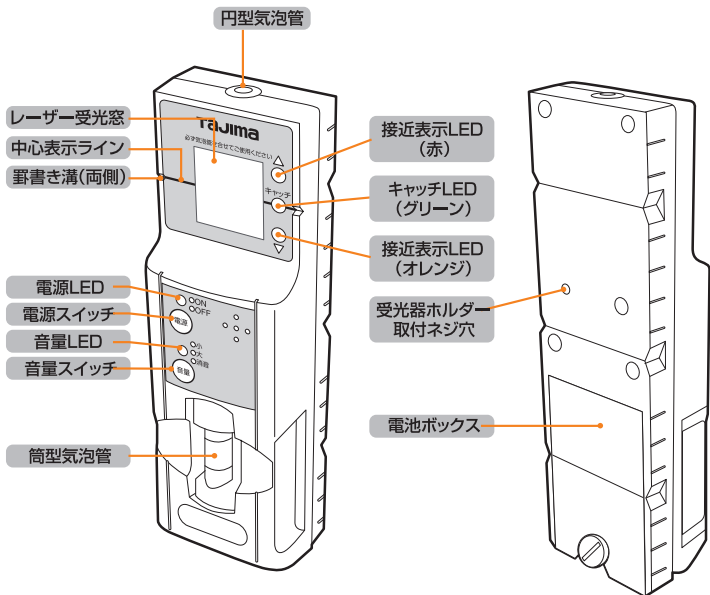
■お手入れについて

- 受光窓が濡れたままであったり、汚れると、精度が悪くなる場合があります。
市販のレンズクリーナーできれいに拭き取ってください。
- 本体の汚れは、埃をよく払ってからやわらかい布で軽く拭いてください。
シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 雨がかかったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

各部の名称



■表示LEDの色とブザー音によりレーザーラインが中心表示位置のどちら側にあるか判別できます。

点灯LED	表示LED色	ブザー音
 接近	赤	ピッピッ ピッピッ
 キャッチ	グリーン	ピー (連続音)
 接近	オレンジ	ピピピピピ

■音量スイッチにより3モードの切替えができます。

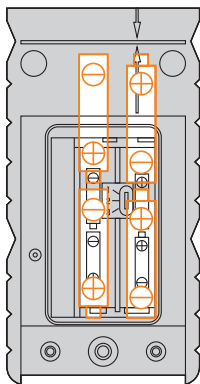
点灯LED	表示LED色	音量
	 グリーン	小
	 赤	大
	 非点灯	消音

ご使用方法 1 ～明るい場所でレーザーラインが見にくい時に～

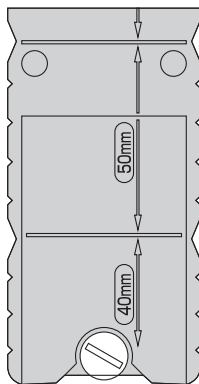
1 お使いになる前に、電池ボックスに単4形乾電池を4本正しく入れてください。(図1)

2 電池フタを閉める際、ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。(図2)

3 電源スイッチをONにします。約1秒間ブザー音が鳴り、その間、表示部のLEDが全て点灯します。その後、電源と音量モードのLEDが点灯します。



(図1)



(図2)

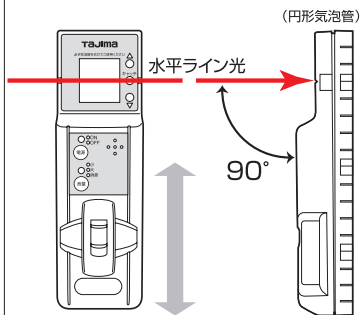
⚠ 注意

- テラモードでは、受光器を使用できません。
墨出し器本体を通常モードにしてご使用ください。
- レーザーレーシーバーは20mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により、反応がしにくい場合があります。

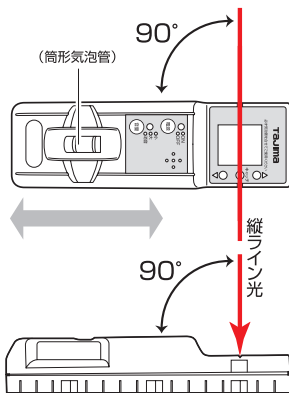
4 受光窓をレーザー光に向け、受光します。受光する場合は、(図3)のようにレーザー光が、中心表示ライン、受光窓に各々90°で当たるようにしてください。

※内蔵の気泡管にて水平をご確認ください。

■水平ライン光の場合



■縦ライン光の場合

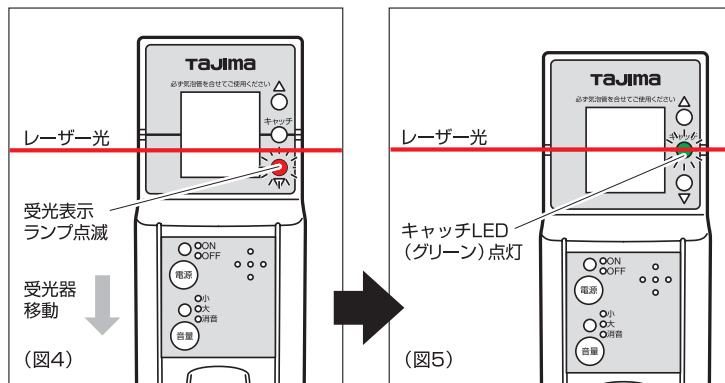


(図3)

⚠ 注意

- テラモードでは、受光器を使用できません。
墨出し器本体を通常モードにしてご使用ください。
- レーザーレシーバーは20mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により、反応がしにくい場合があります。

- 5** 受光窓で、レーザー光を受けると接近LED(赤もしくはオレンジ)が点滅します。(図4)点滅している側の接近LED側にゆっくりと受光器を動かしていくと、キャッチLED(グリーン)が点灯し、連続ブザー音が鳴ります。その位置がレーザー光の中心位置です。(図5)



- 6** その位置で受光器上の気泡管で水平を確認し、受光器が動かないようにしっかりと固定し、野書きを行なってください。

(この時、キャッチLED(グリーン)は点灯し、ブザー音は鳴り続けます。)



注意

- 必ず受光器が水平になるように気泡管を合わせて使用してください。
- 野書き後の墨付け精度は①～③を全て加えたものです。

①レーザー墨出し器本体
のライン精度

+

②受光器の
受光精度

+

③作業者の
墨付け精度

- レーザー墨出し器本体のライン精度よりも大きくなります。

特徴・仕様

- 単4形アルカリ乾電池4本で約30時間（受光器使用時）使用可能です。
- 市販の単4形充電電池もご使用いただけます。
- 明るい場所でレーザー光が見にくい時や、半径1m～20mまでの広い場所で作業をしたい場合に便利です。
- 本機は防塵・防水仕様となっていますので、屋外での作業にもご使用頂けます。
但し、レーザー受光窓が濡れたまま、汚れたままご使用になると誤測定の原因となります。

品名	マルチレーザーレシーバー2
品番	ML-RCV2
受光距離	1m～20m以内※
受光精度	レーザーラインの中心から±1.0mm以内※
防塵・防水性能	防塵・防水設計
電源	単4形アルカリ乾電池 4本
連続使用時間	〈受光器使用時〉約30時間
オートオフ機能	無受光の場合、約5分後に自動で電源OFF
電池寿命警告	表示LEDの点滅とブザー音にて警告
外形寸法	タテ170mm×ヨコ52mm×厚み35mm
重量	本体 約200g（電池含む）
使用温度	-5℃～40℃

※ご使用になる測定位置、作業環境により異なります。

●改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

ご使用方法 2 ～受光器を使用した地墨合わせに～

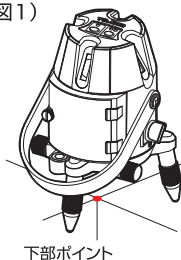
レーザーレシーバーを使用すると、1人で簡単に精度の高いレーザー縦ラインの地墨合わせが出来ます。レーザーラインが見にくい場合も作業が可能です。

1 レーザー墨出し器本体の電源を入れる。

2 基点となる位置にレーザー墨出し器を置き、下部ポイントを合わせます。(図1)

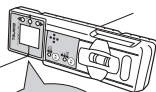
3 レーザー墨出し器の縦ラインを合わせたい位置に、電源を入れた受光器を置きます(図2)

(図1)



地墨

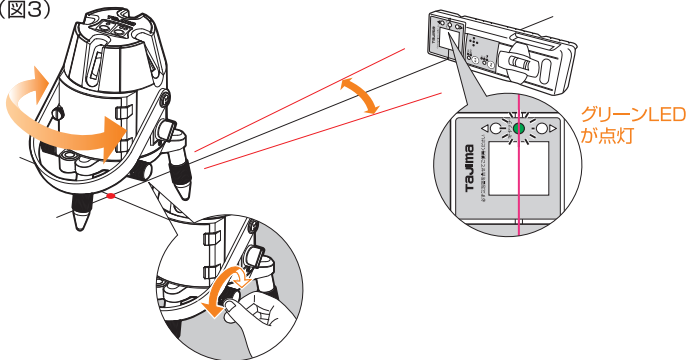
(図2)



地墨に受光器の溝を
合わせる。

4 縦ラインを受光器のキャッチLED(グリーン)が点灯する位置に合わせればOK。(図3)

(図3)



縦ラインの細かい位置合わせ調整は、レーザー墨出し器についている回転微整機構を使用すると便利です。